

# 水墨画 (すいぼくが)

身近にある動植物をモチーフにして、墨と水を筆で表現していく技法を学びます。画き直しが出来ない緊張感が魅力的です。同じ目的を持つ仲間と楽しい時間を過ごせたらと思います。

## 住吉花間 (すみよし しかん)

水墨・篆刻の「印花舎」主宰

千葉県教育委員会センター/千葉県立美術館  
幅広い年齢層の方々が「墨の香」を体験し、水墨画の魅力を学ぶための講座です。  
千葉県立美術館/千葉県立美術館  
千葉県立美術館/千葉県立美術館

活動歴  
「住吉花間の小墨展」 千葉県立美術館  
「水墨画の基礎講座」 千葉県立美術館  
「墨の香」 千葉県立美術館

練習用の手本



山水



蛙(カエル)



笑い石榴 (実の多さが子どもを驚かす様子)



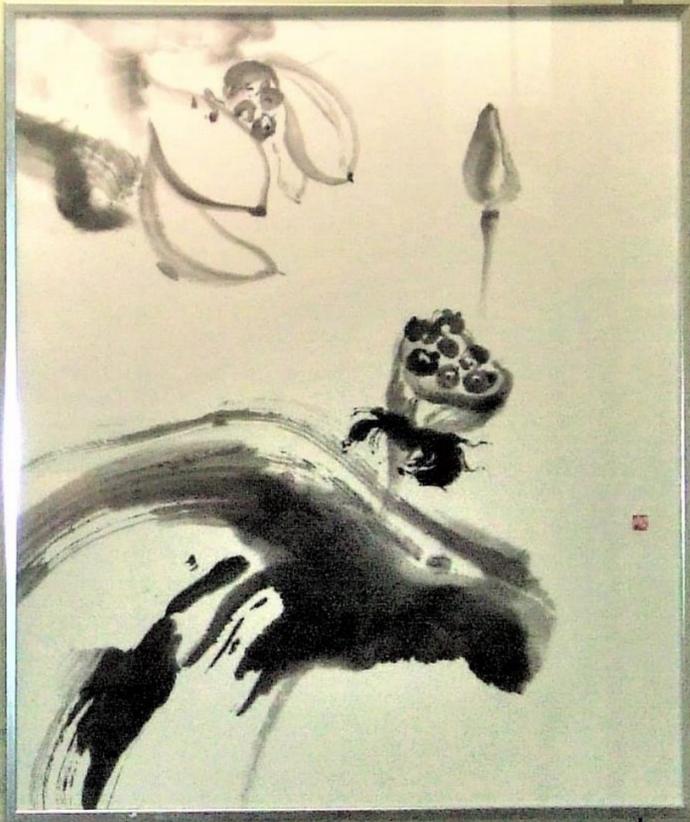
手長海老(テナガエビ)



蒲公英(タンポポ)



玉蜀黍(トウモロコシ)



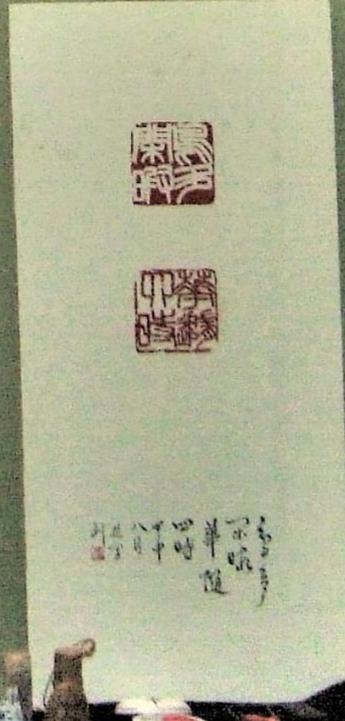
泥中君子 (泥は光の中から清香な花を咲かせる)

### 篆刻 (てんこく)

この印面の中を「方寸の宇宙」と言い、朱と白の陰影自体が鑑賞の対象になります。多くは書画の落款印(らっかんいん)として使用されますが、文章の味わい、文字の構成、刀の切れ具合等が見所となり、知識、技術、情緒が反映されます。



老梅吐艶 (老梅が艶やかに花を咲かせる)



鳥多園暇 花随四時 (鳥多園暇 花随四時)

# 水墨画と篆刻

K11-014  
住吉 花間

令和2年2月1日～令和2年3月31日

